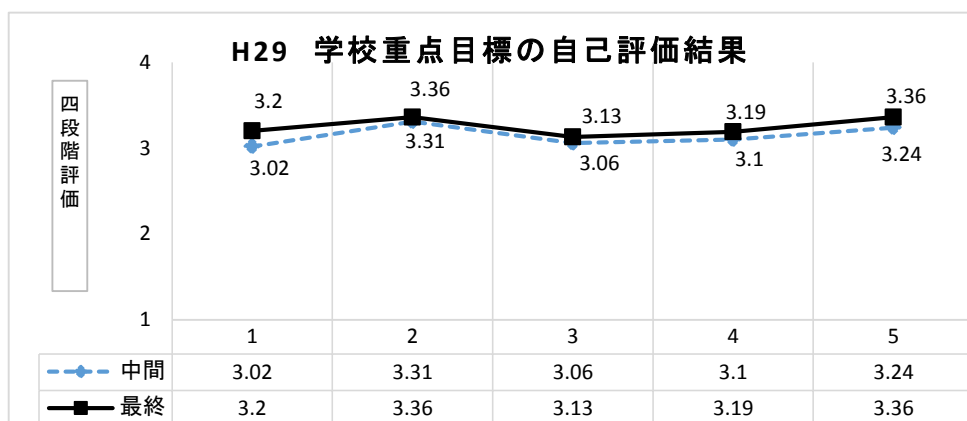


平成29年度 学校評価の取組状況及び結果について

学校関係者評価委員会

1 平成29年度 学校重点目標の自己評価結果について

平成29年度 学校重点目標	
1 『主体性を育む指導』	
○ 一人一人の発達段階や特性に応じ、キャリア教育の視点に立った主体性を育む指導の充実を図る。 ー発達段階や特性に応じた指導法の研修推進ー	
2 『健康の保持と増進』	
○ 学校安全計画に基づき、感染症予防や食育推進など健康の保持と増進に努める。 ー健康管理と行動特性への共通理解ー	
3 『心に届く生徒指導』	
○ 生活習慣の確立を図り、心身の発達上の課題に向き合い、全職員の共通理解のもとに心に届く生徒指導を実践する。 ー学校・家庭・地域一体となった生活指導の連携ー	
4 『社会生活力の育成』	
○ 各学部特性に応じた進路指導や生活・社会体験的な学習をより推進する。 ー挨拶励行等による社会性の育成ー	
5 『センター的機能のさらなる充実』	
○ 産業現場等における実習や交流学习などを通して、特別支援教育への理解啓発を図るとともに各教育機関や福祉機関、行政機関等との連携を推進する。 ー巡回相談や就学相談への継続的な支援ー	



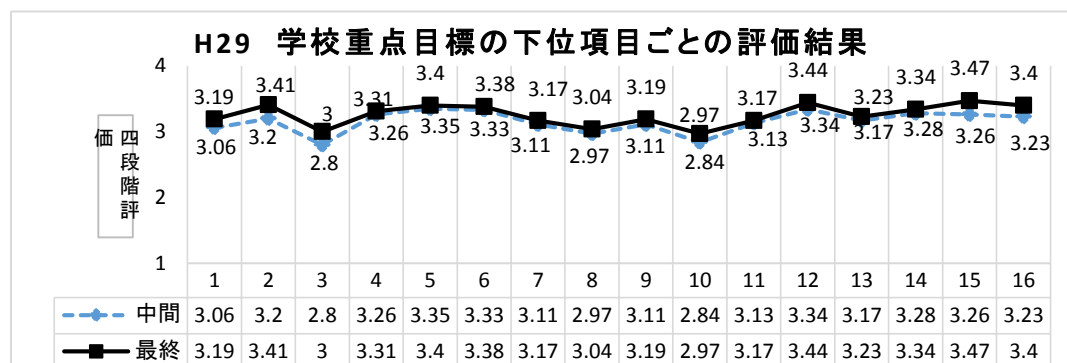
(結 果)

4段階評価で、中間評価平均は「3.14」、最終評価平均では「3.25」、+0.1ポイントの増が見られた。平成29年度の重点目標に向けての教職員の取り組みとして、「おおむね達成できている」のではないかとと思われる。

ただし、重点目標の下位項目ごとの評価結果においては、課題も挙げられている。（下位項目ごとの評価結果は次ページ）

2 学校重点目標の下位項目ごとの評価結果について

1 教育課程の改善に関すること	2 授業の改善・充実に関すること	3 キャリア発達に即した進路指導に関すること
4 学校安全に関すること	5 健康の保持増進に関すること	6 食育に関すること
7 生活指導に関すること	8 生活目標の標語と家庭の意識向上に関すること	9 いじめ問題対策の充実に関すること
10 進路研修、進路情報提供に関すること	11 社会体験的な学習に関すること	12 挨拶励行に関すること
13 外部機関を活用した進路指導に関すること	14 交流・共同学習、地域啓発に関すること	15 巡回相談に関すること
16 就学相談に関すること		



(結果)

最終評価平均が「3.25」であったが、特に「3.4」以上の高い評価項目が「2 授業の改善・充実に関すること」、「5 健康の保持増進に関すること」、「12 挨拶励行に関すること」、「15 巡回相談に関すること」の4項目であった。2については「児童生徒一人一人の主体的な姿を育む授業づくりを目指して」をテーマに公開授業を実施し、公開後も研修の一環として普段の授業へ生かした授業実践に取り組んできた。5については毎月の体重測定・管理、あいうべ体操の実施、感染症予防への職員実技研修と児童生徒への指導、家庭への啓発等を計画的に実施してきた。12については児童生徒会役員を中心とした挨拶励行運動に取り組んできた。15については巡回相談や教育相談、夏期セミナーの実施等、地域のニーズに応じた支援に取り組んできた。このような取組により高い評価結果になったと思われる。

一方、「3 キャリア発達に即した進路指導に関すること」では、係からキャリア教育についての共通理解をより進めていくことが課題として挙げられた。また、「10 進路研修、進路情報提供に関すること」では、進路研修会や情報提供等の年間計画の再検討も課題として挙げられた。

その他の課題としては、身に付けたい力や実態を踏まえた学部行事の精選、教育課程の改善に向けて今後も継続して実施と評価の見直しのサイクルに取り組む、学校のきまりについての継続指導、機会を捉えた挨拶・言葉遣いの継続指導、社会体験的な学習での段階的なねらいの再検討、交流・共同学習での窓口の一本化、就学指導係とコーディネーターとの連携の充実が挙げられた。

以上のことから、課題として挙げられている下位項目に関することについては、次年度に向けて工夫・改善に努めていきたいと考える。